ニュース専修
●「専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/
毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819（直）

新・学士課程教育 26年度スタート

2026年度以降の入学者を対象に「新・学士課程教育」が始まる。本学の21世紀ビジョン「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」を具現化するための科目群である「社会知性基盤科目」を新設。現代社会に必須となる幅広い知識を育み、経験を深めることを目的としている。これに「教養科目」「外国語科目」「専門科目」「単位互換科目」の五つの科目区分で、本学の学士課程教育が構成される。なお、2025年度現在の在学生は、現行のカリキュラムが卒業まで継続される。

社会知性基盤科目を新設

本学は2014年度に現在の学士課程教育をスタート。数年ごとに見直しや改正を行っており、19・20年度の見直しを経て、今回は12年ぶりの大幅なカリキュラム改正となる。改正点は次の通り。

新・学士課程教育の科目構成イメージ図

※Si 社会知性（Socio-Intelligence）の頭文字と「SENSHU Intelligence」の頭文字「S」「I」を表現

国際交流センター主催のSiUインターナショナルプログラム
国際交流協定校からの短期留学生と、寮内留学プログラム（後期）に参加している専大生による協働学修の機会を提供し、国際教育の推進を目的としている。新カリキュラムでは成績評価が行われる。

社会知性基盤科目

本学の学士課程教育の土台となる「社会知性基盤科目」は、「社会知性の開発」をより具現化するための科目群。学部・学科の専門科目にかかわらず、卒業後を見据えた、現代社会に必須の学びだ。

データサイエンス　情報化社会で必要なデジタルスキルを、基礎から応用まで学ぶ。本学がこれまで推進してきた、Siデータサイエンス教育プログラムの関連科目となる。

グローバルスタディ　語学力の向上のみならず、世界とつながる知性と感性を育てるための学び。英語による授業や異文化体験、海外研修を行い、多様な価値観を理解し、グローバルな課題への関心を深める。国際交流センターが実施する留学生と一緒に行うプログラムやスタディツアーなども単位認定する。

分野横断科目　文系と理系を組み合わせた学びや、STEAM教育に関連する内容を含む。社会や自然の多様性を学ぶことを目的にしている。

Si-ゼミナール・Si-ゼミナール論文　学部の専門領域を越えた学際的な視点で、ゼミナール活動や論文執筆に取り組む。

教養科目

視野を広げるための多様な分野の科目を用意。人文科学基礎科目、社会科学基礎科目、自然科学系科目、保健体育系科目を展開する。

外国語科目

国際人としての教養を深めることを目的に、英語と英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、コリア語など）を開講。言語と文化を深く学ぶ。また、海外留学プログラムを修了することで単位認定される科目もある。

専門科目

それぞれの学部でも専門科目のカリキュラム改正を実施する。能動的・主体的な学びで専門性を着実に深める仕組みを強化し、海外留学の推進、英語による専門科目授業の新設など、現代を生き、未来をひらくための力を養う。

分野横断科目　ものごとの見方にさまざまな視点やアプローチがあることを理解する科目。写真は、現行カリキュラム「極域海洋科学」での授業の様子。自然科学を中心に、政治・経済といった社会科学分野の講義も交え、北極・南極への理解を深める。新カリキュラムでも、内容を拡充して開講の予定。

出願受付中

【一般選抜】
スカラシップ入学試験
全国入学試験
試験日　2月1日(日)　2日(月)
出願締切日　1月22日(木)　※消印有効

【一般選抜】
前期入学試験
試験日　2月9日(月)　10日(火)　12日(木)　13日(金)
出願締切日　1月30日(金)　※消印有効

出願締切日は入学試験制度により異なります。詳細はホームページでご確認ください。
https://www.senshu-u.ac.jp

入学センターインフォメーション
◆神田キャンパス TEL 03・3265・6677
◆生田キャンパス TEL 044・911・0794

専大校友を訪ねて Special

登録者数74万人オーバー 専大卒の4人組YouTuber ニシコリ

専修大学卒業生のグローバルYouTuberグループ「ニシコリ」。チャンネル登録数は74万人を超え、ユニークな企画と言葉を自在に操るメンバーが人気を集めている。

メンバーは、リーダーで「英検3級」の英語を駆使するユーダイドさん（令6経済）、青森出身で津軽弁のケイタさん（令4経済）、イギリス出身のマークさん（令6経済）、ブラジル出身でポルトガル語、英語を操るジュンジさん（令6経済）と裏方のケースケさん（令4経済）。

今回は母校・生田キャンパスで大学時代の思い出や、YouTubeにかける思い、専大生へのメッセージを語ってもらった。

（本文5面）